

D 情報の技術

社会にある問題に対する自動化システムを開発しよう

3年()組()番()

本質的な問い	情報の技術によって、安全で誰も取り残されることのない社会を実現するためにはどうすればいいだろう
--------	---

<学習の記録>

アクティビティ図で情報処理の流れを考えよう		
順次処理	反復処理	分岐処理

自動販売機の情報処理の流れをアクティビティ図で表そう。

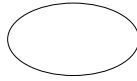
プログラミング練習

02 右に曲がる	
<アクティビティ図>	<プログラム(スクショ可)>
09 IFを使う	
<アクティビティ図>	<プログラム(スクショ可)>

<課題解決>

社会にはどんな問題があるか考えよう。

< > < > < >



自動化システムで解決できそうな問題はありますか。

問題

設定した課題のタイトル

課題： をつくる。

<実践方法>

完成までの作業工程を考えよう

構想をまとめてみよう	
<図やコメント>	<自動化の流れ（アクティビティ図）>

役割分担

プロジェクトマネージャー	プログラマー
エンジニア	プレゼンター

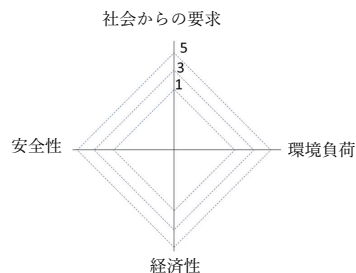
<構想の評価>

考慮した「技術の見方・考え方」にチェックを入れて確認しよう

- 社会からの要求
 使用時の安全性
 経済性
 安定性（再現性）
 情報の倫理
 セキュリティ
 記録
 ファイルのサイズ
 ネットワークの速度
 効率性
 情報の表現
 メンテナンスの容易さ
 デジタル化の容易さ
 使用するコンピュータの性能や機能

社会からの要求	
安全性	
環境負荷	
経済性	

※工夫点を考えて数値化（5点満点）しよう



作業計画シート（自分の役割：

）

（自己評価：できた4，まあまあできた3，あまりできなかった2，できなかった1）

授業時間	作業目標	作業内容や注意したこと、工夫したこと	自己評価	
			①時間内にできたか	②集中して取り組めたか
①			①4・3・2・1	②4・3・2・1
②			①4・3・2・1	②4・3・2・1
③			①4・3・2・1	②4・3・2・1
④			①4・3・2・1	②4・3・2・1
⑤			①4・3・2・1	②4・3・2・1
⑥	中間発表 (検査修正)		①4・3・2・1	②4・3・2・1
⑦			①4・3・2・1	②4・3・2・1
⑧			①4・3・2・1	②4・3・2・1

中間発表によって問題解決に近づいたか評価しよう

完成度		改善が必要な項目
満足度	%	どんなふうに改善しますか
	%	

完成後の製作品によって問題解決に近づいたか評価しよう (できていない場合はその改善が必要な点を書いてみよう)	
解決の度合	解決できた ④ ③ ② ① 解決できなかった

情報の技術について、どんなことを学習できましたか。

情報の技術によって、安全で快適な生活環境を実現するために、これからどんな技能を身に付けて、どんなことに気をつけてつくっていきたいですか。

情報の技術によって、安全で誰もが取り残されることのない社会を実現するためにはどうすればいいと思いますか。